

令和3（2021）年度

# ふたばこども園自己評価



認定こども園  
佐賀女子短期大学付属  
ふたばこども園

# 2021年度 園の自己評価

佐賀女子短期大学付属 ふたばこども園

## 1. 学校教育目標

「遊びは学び」という乳幼児教育の理念を基本とし、子どもの主体的、創造的活動を促すとともに集団生活をとおして、思いやりの心や社会性を身につけ、生きる力の基礎を培う

## 2. 求める子どもの姿

や　さ　し　く	か　し　こ　く	た　く　ま　し　く
<input type="radio"/> 感性豊かな子	<input type="radio"/> 創造性豊かな子	<input type="radio"/> 進んで運動する子
<input type="radio"/> 協同して遊び互いに尊重する子	<input type="radio"/> 知的好奇心に満ちた子	<input type="radio"/> 食事を楽しむことができる子

## 3. 教育方針

【青文字】は新「認定こども園教育・保育要領」に示された、幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿

- ① 食事を楽しみ、健康や望ましい食生活習慣を身につけるようになる。 【健康な心と体】
- ② 目標を定めて挑戦し、充実感や満足感、そして達成感を味わうことができるようになる。 【自立心】
- ③ 日常生活・集団生活の中で言葉を通して人間関係を深めるようになる。 【協同性】
- ④ あいさつや決まりを守ることなど集団生活に必要な生活習慣が身につくようになる。 【道徳性・規範意識の芽生え】
- ⑤ 地域とのつながりを深め、豊かな体験ができるようになる。 【社会生活との関わり】
- ⑥ 体験活動や探究活動を重視し、感性を高め、知的発達が芽生える。 【思考力の芽生え】
- ⑦ 身の回りのものや自然の事物と親しむ中で、生命の神秘や不思議さ、美しさを感じ、自然を大事にしようとする心が育つ。 【自然との関わり・生命尊重】
- ⑧ 遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しみ、それらに興味や関心、感覚を持つようになる。 【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】
- ⑨ 豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝え合いを楽しむようになる。 【言葉による伝え合い】
- ⑩ 心を動かす出来事などに触れ、感性を働かせ、表現する喜びを味わうことができるようになる。 【豊かな感性と表現】

## 4. 評 定

評定の基準	A とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が75%以上	関係者評価の判定基準	A 園の自己評価を 納得できる
B とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が60%以上75%未満		B //	だいたい納得できる
C とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が50%以上60%未満		C //	あまり納得できない
D とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が50%未満		D //	納得できない

5. 保護者の園評価 ・・・ 資料1-1 ・ 資料1-2 ・ 資料1-3

6. 教職員の自己評価 ・・・ 資料2 ・ 資料3-1 ・ 資料3-2

## 5 保護者の園評価アンケート集計【0・1・2歳児】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-1

NO	評価項目 (観点)	評価内容	評価の段階					評価の段階		
			①とてもよい そう思う	②よい・やや そう思う	③あまりよく ない・あまり そう思わない	④よくない そう思わない	⑤分から ない	よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分からない ⑤
1	教育・保育の目標	先生方は、「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や認定こども園教育・保育要領に示されている内容に基づき、子どもの主体性や自発的な言動を大切にし、遊びを通した教育・保育の実践に取り組んでいます。こうした子ども中心の教育・保育についてどう思われますか？	58	8				66		
			87.9%	12.1%				100.0%		
2	意欲	先生方は、子どもたち一人一人に寄り添い、共に遊びながら教育・保育を実践しています。また、進んで子どもたちにあいさつやことばかけをしています。先生方は教育・保育活動に意欲的に取り組んでいらっしゃると思いますか？	47	18			1	65	1	
			71.2%	27.3%			1.5%	98.5%	1.5%	
3	研究・研修	先生方は、年に一人1回以上の研究保育を行ったり、月1回の園内研修（勉強会）や園外での研修会などに参加したりして、どの園よりも研修を積み、その成果を日頃の保育に活かしています。こうした取り組みについてどう思われますか？	50	16				66		
			75.8%	24.2%				100.0%		
4	組織力	先生方は、毎週学年の話し合いを行い、行事や保育の実践、情報等について共有をしています。また、チームワークや組織での対応を大切にしています。先生方は、子どもの保育や指導、支援などについて、職員同士で連携したり協力したりしていると思いますか？	42	23			1	65	1	
			63.6%	34.8%			1.5%	98.5%	1.5%	
5	安全・環境	先生方は、毎月園舎や遊具の安全点検を行ったり、はう、立つ、歩くなどの行動が自由にできるように保育室の環境整理を行ったりしています。先生方は子どもたちが安心して、安全に園で過ごせるように努力していると思いますか？	46	19			1	65	1	
			69.7%	28.8%			1.5%	98.5%	1.5%	
6	指導の工夫・改善	先生方は、子どもたちが何に興味や関心を持ち、どんな遊びをしたいかを見通しながら、手作りのおもちゃを工夫したり、遊びの環境を整えたりしています。先生方は、子ども中心の教育・保育の実践に務めているだと思いますか？	52	14				66		
			78.8%	21.2%				100.0%		
8	道徳性の指導	先生方は、子どもたちにやさしく声をかけ応答を楽しんだり、スキンシップを取ったりしながら、園で安心して過ごせるよう心がけています。こうした保育についてどう思われますか？	59	7				66		
			89.4%	10.6%				100.0%		
7	生活習慣の指導	先生方は、できるだけゆったりとした園生活が送れるように、一人一人の生活リズムを考えながら、給食や午睡などの取り方を工夫したり、遊びの環境を作ったりしています。こうした保育についてどう思われますか？	55	11				66		
			83.3%	16.7%				100.0%		
9	信頼性・連携	先生方は、できるだけ直接又は電話で保護者の方とお話をし、家庭との連絡や情報の提供を行うように努めています。先生方は、気軽に相談できる体制を取っているだと思いますか？	44	19	1		2	63	1	2
			66.7%	28.8%	1.5%		3.0%	95.5%	1.5%	3.0%
10	園の公開	先生方は、お便りや写真の掲示、インスタグラムなどで子どもたちの様子をできるだけ多く保護者の皆さんにお伝えしようと工夫しています。先生方は、園の「公開」や「見える化」に取り組んでいると思いますか？	45	21				66		
			68.2%	31.8%				100.0%		
11	身近な人々とのかかわり	先生方は、身近なところに散歩に出かけたり、高校の保育部の生徒や短大の学生などと遊び機会を多く持ったりしています。先生方は、高校・短大や地域と連携し、子どもたちによりよい教育・保育を提供するようにしていると思いますか？	52	13			1	65	1	
			78.8%	19.7%			1.5%	98.5%	1.5%	
12	体力の向上	先生方は、気候がよい時には、できるだけ外気に触れたり、戸外に遊びに行ったりする機会を多く取り入れています。こうした保育についてどう思われますか？	61	5				66		
			92.4%	7.6%				100.0%		
13	食育の推進	先生方は、授乳や給食について家庭と連携を取り、一人一人の生活リズムに合わせ、ゆったりと関わりながら飲食させるように工夫していると思いますか？	47	16	3			63	3	
			71.2%	24.2%	4.5%			95.5%	4.5%	

## 5 保護者の園評価アンケート集計【3・4・5歳児】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-2

NO	評価項目 (観点)	評価内容	評価の段階					評価の段階		
			①とてもよい そう思う	②よい・やや そう思う	③あまりよく ない・あまり そう思わない	④よくない そう思わない	⑤分から ない	よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分からない ⑤
1	教育・保育 の目標	先生方は、「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や認定こども園教育・保育要領に示されている内容に基づき、子どもの主体性や自発的な言動を大切にし、遊びを通した教育・保育の実践に取り組んでいます。こうした子ども中心の教育・保育についてどう思われますか?	141 75.8%	43 23.1%			2 1.1%	184 98.9%		2 1.1%
2	意欲	先生方は、子どもたち一人一人に寄り添い、共に遊びながら教育・保育を実践しています。また、進んで子どもたちにあいさつやことばかけをしています。先生方は教育・保育活動に意欲的に取り組んでいると思いますか?	133 71.5%	50 26.9%	2 1.1%		1 0.5%	183 98.4%	2 1.1%	1 0.5%
3	研究 研修	先生方は、年に一人回以上の研究保育を行ったり、月1回の園内研修(勉強会)や園外での研修会などに参加したりして、どの園よりも研修を積み、その成果を日頃の保育に活かしています。こうした取り組みについてどう思われますか?	134 72.0%	49 26.3%	1 0.5%		2 1.1%	183 98.4%	1 0.5%	2 1.1%
4	組織力	先生方は、毎週学年の話し合いを行い、行事計画や保育の実践の振り返り、情報等の共有を行っています。また、チームワークや組織での対応を大切にしています。先生方は、子どもの保育や指導、支援などについて、職員同士で連携したり協力したりしていると思いますか?	95 51.1%	78 41.9%	3 1.6%		10 5.4%	173 93.0%	3 1.6%	10 5.4%
5	安全 環境	先生方は、毎月施設や遊具の安全点検を行ったり、各保育室などの清掃や整理整頓を行ったりしています。先生方は子どもたちが安心して、安全に、園で過ごせる環境づくりに努力していると思いますか?	99 53.2%	76 40.9%	8 4.3%		3 1.6%	175 94.1%	8 4.3%	3 1.6%
6	指導の 工夫・改善	先生方は、子どもたちが何に興味や関心を持ち、どんな遊びをしたいかを見通しながら、手作りの遊具やおもちゃを準備して遊びの環境を整え、子どもの気持ちや、やりたい思いを実践できる指導を工夫しています。先生方は、子ども中心の教育・保育の実践に務めていると思いますか?	144 77.4%	41 22.0%			1 0.5%	185 99.5%		1 0.5%
7	道徳性の 指導	先生方は、子ども同士のトラブルや人を傷つけるような言動があった場合、子どもの意見や思いを聴きながら、子ども自身が納得した解決に努めています。先生方は、規範(ルール)や自分も友達も大切にするなど、道徳性の芽生えを育てていると思いますか?	104 55.9%	77 41.4%	1 0.5%		4 2.2%	181 97.3%	1 0.5%	4 2.2%
8	生活習慣の 指導	先生方は、あいさつや正しい言葉遣いを自ら励行し、子どもの手本となるようにしています。先生方は、基本的生活習慣が身に付くようにかかわっていると思いますか?	107 57.5%	74 39.8%	2 1.1%	1 0.5%	2 1.1%	181 97.3%	3 1.6%	2 1.1%
9	信頼性 ・連携	先生方は、できるだけ直接又は電話で保護者の方とお話をし、家庭との連絡や情報の提供を行うように努めています。先生方は、気軽に相談できる体制を取っていると思いますか?	121 65.1%	58 31.2%	7 3.8%			179 96.2%	7 3.8%	
10	園の公開	先生方は、お便りや写真の掲示、インスタグラムなどで子どもたちの様子をできるだけ多く、保護者の皆様にお伝えしようと工夫しています。先生方は、園の「公開」や「見える化」に取り組んでいると思いますか?	100 53.8%	71 38.2%	12 6.5%	1 0.5%	2 1.1%	171 91.9%	13 7.0%	2 1.1%
11	身近な人々 との かかわり	先生方は、地域の公園や公共の施設に出かける園外保育を工夫したり、高校の保育部の生徒や短大の学生などと遊び機会を多く持ったりしています。先生方は、高校・短大や地域と連携し、子どもたちによりよい教育・保育を提供するようにしていると思いますか?	131 70.4%	54 29.0%	1 0.5%			185 99.5%	1 0.5%	
12	体力の向上	先生方は、園庭やホールなどで子どもたちと一緒に走り回ったり、戸外遊びを進めたりしています。先生方は、体を十分に動かして遊び体験を多く取り入れ、体力の向上に努めていると思いますか?	124 66.7%	56 30.1%	1 0.5%		5 2.7%	180 96.8%	1 0.5%	5 2.7%
13	食育の 推進	先生方は、ジャガイモやサツマイモなどの収穫体験を行ったり、子どもたちが給食や食べ物に興味・関心を持つよう指導の工夫をしたりしています。また、給食をインスタグラムで紹介したりしています。先生方は「食育」の大切さを考えていると思いますか?	123 66.1%	57 30.6%	3 1.6%		3 1.6%	180 96.8%	3 1.6%	3 1.6%
14	幼小の接続	先生方は、子どもたちが進学する小学校を訪問し、情報交換や事務連絡等を行っています。また、年長児は、近隣の小学校訪問(例年2月に本庄小を訪問します)や入学前の小学生とのふれあいの活動等に参加しています。先生方は、小学校生活に向けての準備や期待を持つような指導をしていると思いますか? (年長のみ回答)	32 54.2%	23 39.0%			4 6.8%	55 93.2%		4 6.8%

## 5 保護者の園評価アンケート集計【総合】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-3

○・1・2歳児保護者 評定			3・4・5歳児保護者 評定			総合評定		
NO	評価項目 (観点)	評価の段階				評価の段階		
		よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分からない ⑤		よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分からない ⑤
1	教育・保育の目標	66				184	2	
		100.0%				98.9%	1.1%	
2	意欲	65		1		183	2	
		98.5%		1.5%		98.4%	0.5%	
3	研究・研修	66				183	1	
		100.0%				98.4%	0.5%	
4	組織力	65		1		173	3	
		98.5%		1.5%		93.0%	1.6%	
5	安全・環境	65		1		175	8	
		98.5%		1.5%		94.1%	4.3%	
6	指導の工夫・改善	66				185	1	
		100.0%				99.5%	0.5%	
7	道徳性の指導	66				181	1	
		100.0%				97.3%	0.5%	
8	生活習慣の指導	66				181	3	
		100.0%				97.3%	1.6%	
9	信頼性・連携	63	1	2		179	7	
		95.5%	1.5%	3.0%		96.2%	3.8%	
10	園の公開	66				171	13	
		100.0%				91.9%	7.0%	
11	身近な人々とのかかわり	65		1		185	1	
		98.5%		1.5%		99.5%	0.5%	
12	体力の向上	66				180	1	
		100.0%				96.8%	0.5%	
13	食育の推進	63	3			180	3	
		95.5%	4.5%			96.8%	1.6%	

## 6 教職員の自己評価集計

(上段：人数・下段：割合)

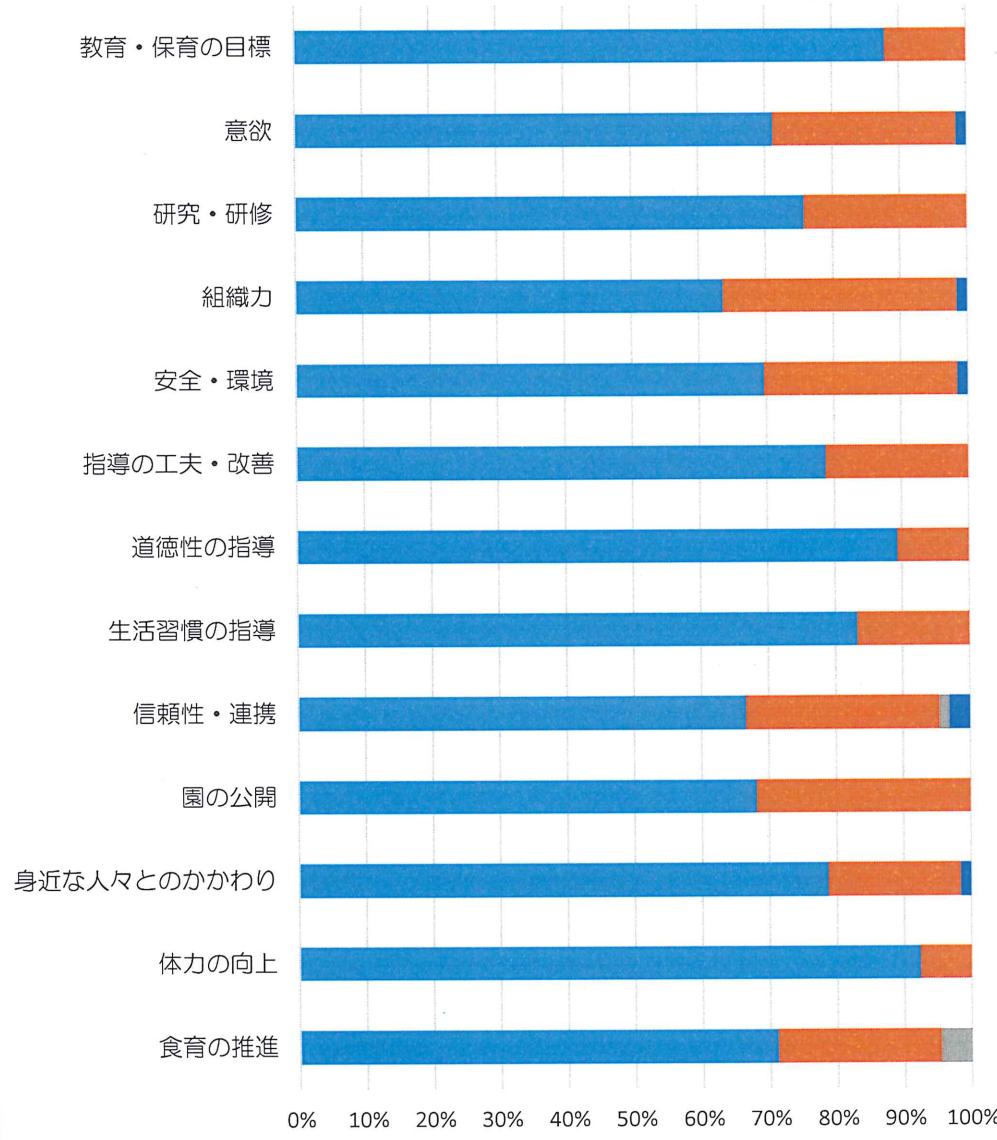
資料 2

NO	評価の観点	評価内容	評価の段階				評価の段階	
			①よくあてはまる	②あてはまる	③あまりあてはまらない	④全くあてはまらない	①+②	③+④
1	教育・保育の目標	「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や本園の目標に基づき、子どもの主体性を大切にし、遊びを通した教育・保育を実践するように努めている。	20 76.9%	6 23.1%			26 100.0%	
2	意欲	一人一人の子どもに温かく接し、意欲的に教育・保育活動に取り組むように努めている。	21 80.8%	5 19.2%			26 100.0%	
3	研究・研修	園内・園外での研究や研修に積極的に参加し、保育者としての資質向上に努めている。	9 34.6%	17 65.4%			26 100.0%	
4	組織力	教育・保育や学年学級経営、学年の課題等について、学年や先生方で話し合ったり、協力したりしている。	14 53.8%	12 46.2%			26 100.0%	
5	安全・環境	施設・設備の安全について定期的に点検するとともに、園庭やホール、保育室などの清掃、整理・整頓などに配慮している。	7 26.9%	19 73.1%			26 100.0%	
6	指導の工夫・改善	子どもたちが主体的な活動や豊かな体験ができるように、遊びの環境や指導の工夫・改善に努めている。	17 65.4%	9 34.6%			26 100.0%	
7	道徳性の指導	してよいこと、悪いことなどの規範や自分も友達も大切にするなど、道徳性や規範意識を育てるように努めている。	18 69.2%	8 30.8%			26 100.0%	
8	生活習慣指導	挨拶をする、きまりを守るなど基本的な生活習慣が身に付くように自ら率先して手本を見せたり、指導したりするように努めている。	19 73.1%	7 26.9%			26 100.0%	
9	信頼性・連携	子どもたちが安心して自分らしさを發揮したり、保護者も気軽に相談したりできるような、信頼関係を作るように努めている。	18 69.2%	8 30.8%			26 100.0%	
10	園の公開	保護者参加行事や保育参観、保育参加、ホームページやお便り等を通して、園を公開するように努めている。	8 30.8%	17 65.4%	1 3.8%		25 96.2%	1 3.8%
11	身近な人々とのかかわり	短大の学生や高校の生徒とのふれあいを活かしたり、身近な地域や公園などに出かける園外保育を工夫したりして、子どもたちによりよい教育・保育を提供するように努めている。	15 57.7%	11 42.3%			26 100.0%	
12	体力の向上	屋外の遊びを大切にし、体を十分に動かして遊ぶ体験を意図的、計画的に取り入れるように努めている。	18 69.2%	7 26.9%	1 3.8%		25 96.2%	1 3.8%
13	食育の推進	子どもたちが望ましい食の習慣を身に付けるように、給食指導等を行ったり、家庭と連携を図ったりするように努めている。	15 57.7%	11 42.3%			26 100.0%	
14	幼小の接続	年長では、小学校生活に期待や憧れを持たせる機会を設けたり、「10の姿」を意識した教育・保育に取り組んだりしている。（年長児担当・主幹）	4 80%	1 20%			5 100.0%	

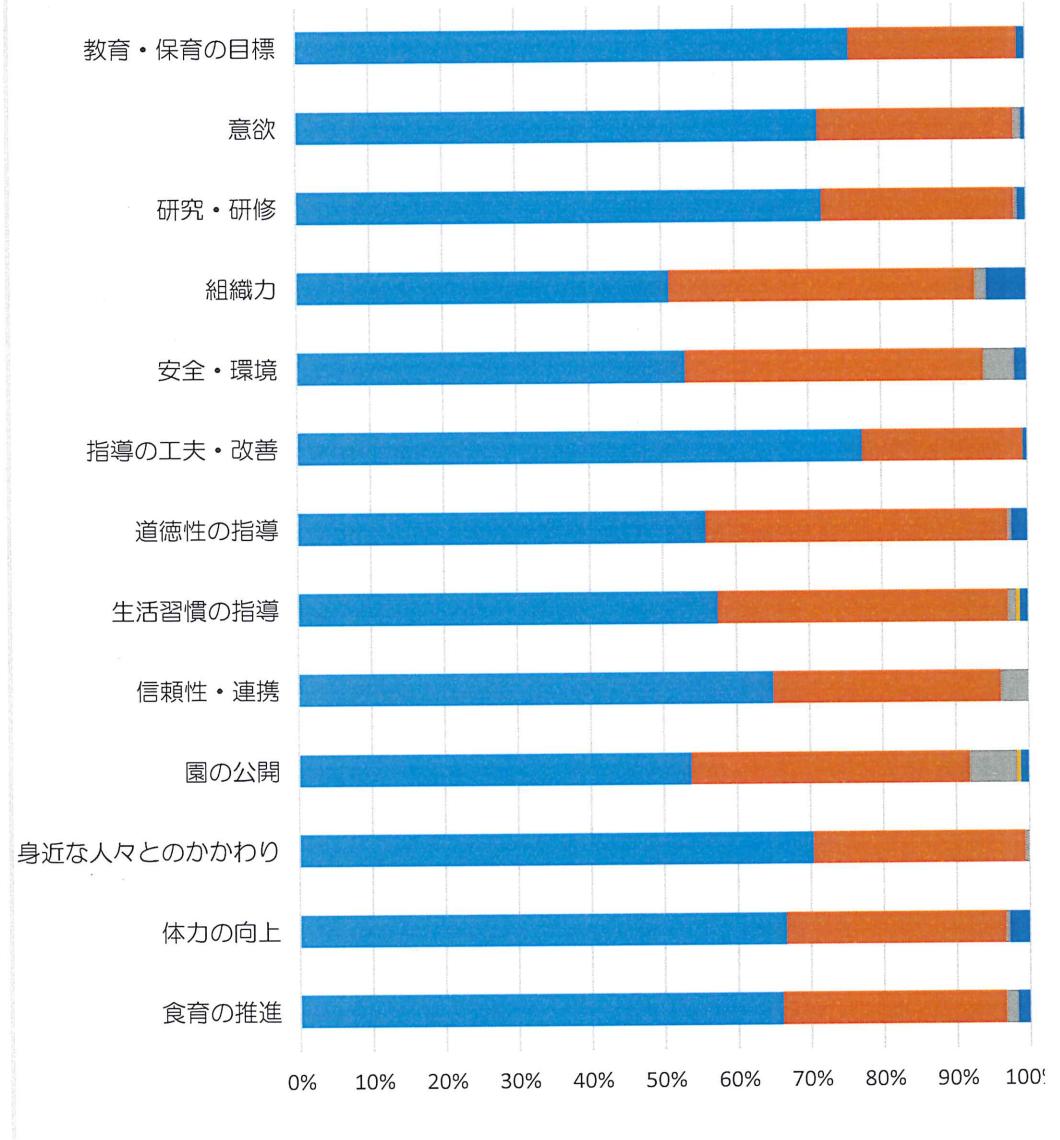
# 園評価集計グラフ

資料 3-1

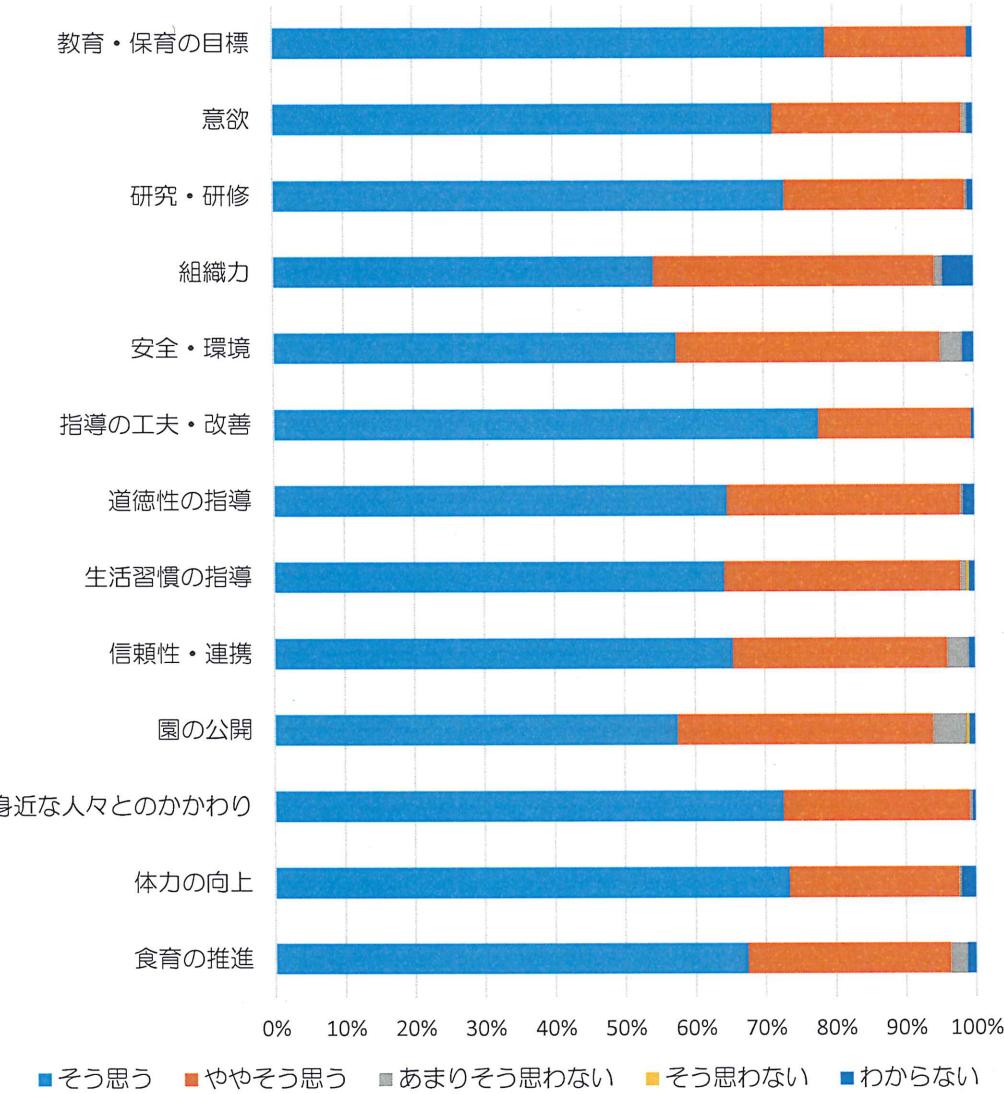
○・1・2歳児保護者 園評価集計グラフ



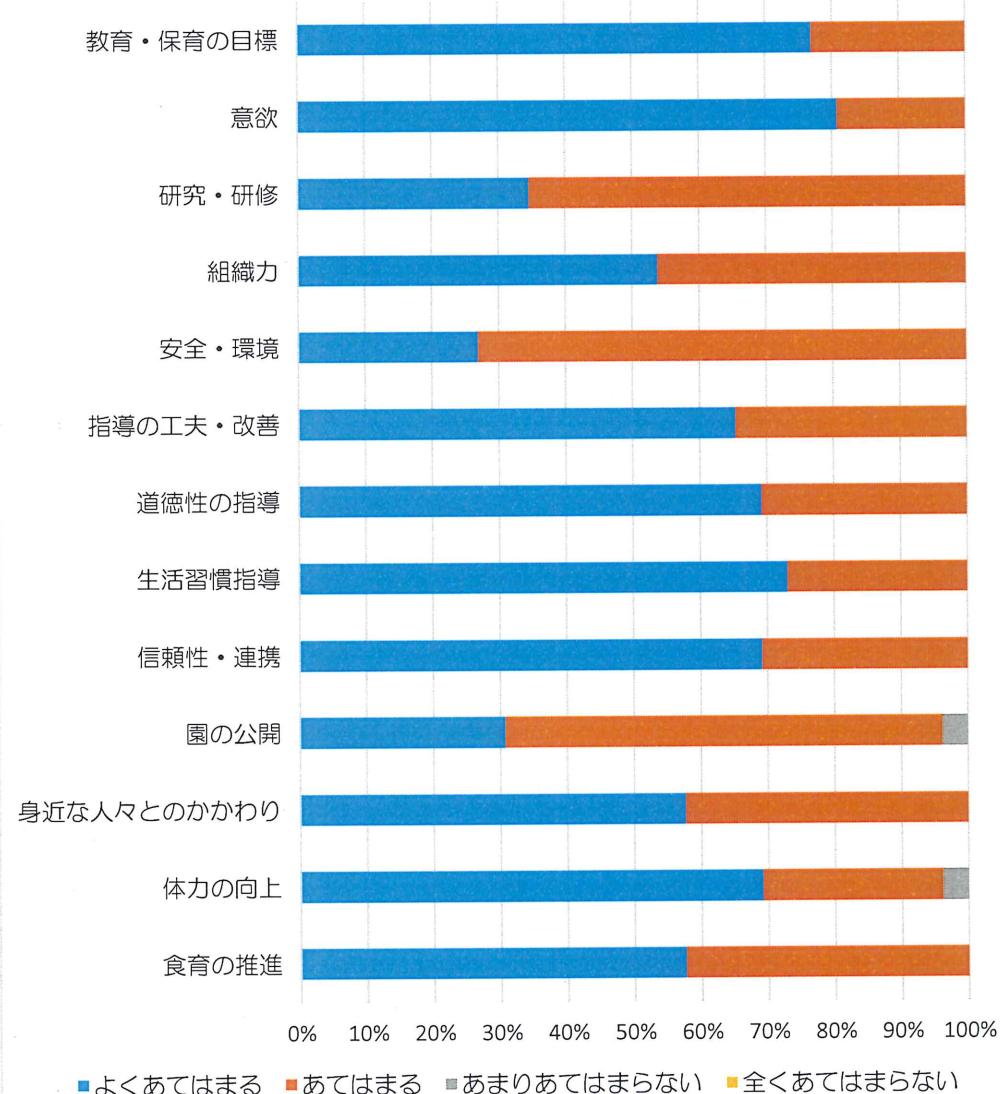
3・4・5歳児保護者 園評価集計グラフ



保護者園評価集計グラフ



教職員園評価集計グラフ



## 7 園評価及び自己評価の総合評定

NO	評価項目 (観点)	保護者の園評価			職員の自己評価			評 定			評定の気づき	関係者評価委員判定	
		よい そう思う	よくない そう思わない	分から ない	あてはまる	あてはまら ない		保護者	職員	総合		評定	講 評
1	教育・保育 の目標	250		2	26			A	A	A	今年度も保護者、職員ともに高い評価である。職員は「そう思う」が100%で、子ども中心の教育・保育の実践を日々、目指していると感じる。	A	◇幼児教育において育みたい資質・能力の柱を理解し実践している結果であると思う。 ◇子ども主体の遊びを中心とした教育・保育は◎である。 ◇子どもたちのことを考えて工夫した遊びなどができる環境を整えている。 ◇子ども中心の教育・保育への情熱と意欲がある。 ◇同じ方向性で保育指導の取り組まれている。 ◇園の保育観が同じ方向に向いている証拠である。
2	意 欲	248	2	2	26			A	A	A	今年度も高い評価であった。職員の保育への姿勢が評価された結果だと思う。また、職員も全員が意欲的に日々の保育に取り組んでいると評価している。今後もその姿勢を持ち続けて欲しい。	A	◇一つの型にとらわれることなく、創意工夫のある研究・研修を行っている。 ◇チームとして組織的に教育・保育に携わっている。 ◇子どもの行動には意味があることを信じ、大人の価値観で教えたり、操ったりしない保育を大切にしている結果である。
3	研究・研修	249	1	2	26			A	A	A	昨年度に引き続き、今年度も高い評価をいただいた。研修について、お知らせしたり、ご協力を願ったりしてきた結果であると思われる。研修の成果を日々の保育に還元できるようにしていきたい。	A	◇ダスキン業者が入り、コロナ対策などを行っていることを、積極的にインスタなどに載せたらいい。 ◇何かあった時は、こまめに連絡・報告をしてくれる。 ◇日々の振り返りや研究・研修での気づきや学びを教育・保育に活かしている。 ◇バスなどで園外保育によくお出かけしていただきたい。
4	組織力	238	3	11	26			A	A	A	保護者の「分からない」という数が一番多い項目である。昨年度も多かったが、保護者には見えにくい観点だと思う。ただ、職員は全員が組織力を大切であると意識し、活動を行っているようである。	A	◇バスなどで園外保育によくお出かけしていただきたい。 ◇アナログの大切さも忘れないで欲しい。 ◇コロナ禍にあって、可能な限り園を開いていると思う。
5	安全・環境	240	8	4	26			A	A	A	職員は安全点検や環境の整備が安心・安全につながると意識し、努力しているようである。しかし、保護者の評価で「そう思わない」が3.2%ある。細かな部分の整理整頓や清掃を心がける必要がある。	A	◇保護者には評定が難しい項目であったかなと思う。これからも、インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫していきたい。
6	指導の工夫 ・改善	251		1	26			A	A	A	保護者の評価が1番高い項目である。先生方は研修の成果を生かしたり、遊びの環境を工夫したりしながら、日々の教育・保育に取り組んでいる。そのことが多くの保護者の方に評価していただいたと思う。	A	◇保護者には評定が難しい項目であったかなと思う。これからも、インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫していきたい。
7	道徳性 の指導	247	1	4	26			A	A	A	昨年度と同じ結果である。保護者、職員とも高い評価である。一人一人の子どもを大切にし、お互いの意見を聞き、お互い納得し合うような指導を心がけている成果であると思う。	A	◇保護者には評定が難しい項目であったかなと思う。これからも、インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫していきたい。
8	生活習慣 の指導	247	3	2	26			A	A	A	保護者、職員とも高い評価である。生活習慣を身に付けさせることは大切なことである。これからも保護者と連携を取りながら、子どもに無理のないように生活習慣の指導を進めていきたい。	A	◇保護者には評定が難しい項目であったかなと思う。これからも、インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫していきたい。
9	信頼性 ・連携	242	8	2	26			A	A	A	保護者、職員とも高い評価である。ただ、3.2%と割合は少ないが、低い評定も見られる。今後も保護者と直接会話し、説明をしっかり行いながら信頼関係を築いていきたい。	A	◇保護者には評定が難しい項目であったかなと思う。これからも、インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫していきたい。
10	園の公開	237	13	2	25	1		A	A	A	評価項目の中で低評価が5.2%と一番多い項目となった。今年度もコロナの感染対策のため保育参観や保育参加を計画とおりできなかった。また、インスタグラムも昨年以上の公開を行ったが、現状に不満であるという声があった。	A	◇保護者には評定が難しい項目であったかなと思う。これからも、インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫していきたい。
11	身近な 人々との かかわり	250	1	1	26			A	A	A	保護者、職員ともに高い評価である。職員は季節に合わせて、機会ある毎に短大や近隣の公園、公共施設等へ園外保育に出かけ、様々な体験をさせるように工夫していた結果であると思われる。	A	◇保護者には評定が難しい項目であったかなと思う。これからも、インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫していきたい。
12	体力の向上	246	1	5	25	1		A	A	A	子どもたちは户外で、元気に十分遊げるくらいに身体を動かして遊んでいると思う。職員も一緒に走り回り、户外での遊びを推奨している。	A	◇保護者には評定が難しい項目であったかなと思う。これからも、インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫していきたい。
13	食育の推進	243	6	3	26			A	A	A	保護者には評定が難しい項目であったかなと思う。これからも、インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫していきたい。	A	◇保護者には評定が難しい項目であったかなと思う。これからも、インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫していきたい。

## 8. 総合評価

①	アンケートの回収は252/271で回収率94.0%であった。昨年度に引き続き、今年度も回収率が90%を越えることができた。回収率の内訳は、3歳未満児が66/69で95.7%、3歳以上児が186/202で92.1%であった。園の教育・保育や子どもの成長等に対する保護者の方の関心の高さを知るとともに、多くの保護者にご協力いただいたことに感謝したい。毎年、評価の観点についてはより具体的な取り組みを示し、少しずつ評価しやすいうように工夫している。
②	保護者の評価は13項目すべてにおいて「よい・そう思う」が90%以上の高い評定をいただいた。特に、「教育・保育の目標」、「意欲」、「研究・研修」、「指導の工夫・改善」、「道徳性の指導」、「生活習慣の指導」、「身近なひとびととのかかわり」の7項目においては98.0%以上という高い評価だった。本園の教育・保育の柱としている「子ども中心の教育・保育」や日頃の教育・保育の実践等をご理解いただいてきた証であると思う。
③	職員には自身のことを振り返る自己評価を実施した。13項目すべてにおいて「よくあてはまる・あてはまる」の評価が96%を超えた。「園の公開」と「体力の向上」の2項目を除いた11項目で「よくあてはまる・あてはまる」の評価が100%だった。特に、「よくあてはまる」の評価が50%以上だった項目は、「教育・保育の目標」、「意欲」、「組織力」、「指導の工夫改善」、「道徳性の指導」、「生活習慣の指導」、「信頼性・連携」、「身近な人々とのかかわり」、「体力の向上」、「食欲の推進」の10項目もあり、職員の教育・保育に対する前向きな姿勢や日々の実践に工夫や努力を行っていることを見ることができた。
④	保護者の「よい・そう思う」の評定が90%以上という高い評価をいただいたが、「安全・環境」、「園の公開」、「信頼性・連携」の3観点において「あまりそう思わない・そう思わない」と評価された方が数名あった。また、「組織力」において、「わからない」と評定された方が若干名あった。職員の中にも、「園の公開」で「あまりあてはまらない」が1名あった。インスタグラムや廊下の掲示板で子どもたちの様子を工夫しながら発信したが、今年度も新型コロナウィルス感染症の流行のため、保育参観や保育参加を中止したり、行事等の実施を中止したり、制限したりしたことで「園の公開」が難しかった。
⑤	年長の保護者のみに評価項目14「幼小の接続」について評定をいただいた。「よい・そう思う」の評価が93.2%となり、昨年度の84.9%から向上した。また、「よくない・そう思わない」がなかった。「わからない」の評価が6.8%（4名）あったが、昨年度（8.2%）よりも少なくなった。幼少の連携行事が新型コロナウィルス感染症の流行拡大のため、次々と中止になり、職員も小学校進学に向けた取り組みで苦慮することもあった。また、保護者にも、見えづらく、なかなか伝えにくいところがある観点のようである。
⑥	保護者からは13項目すべてで「A」評定をいただいた。また、全項目で「よい・そう思う」の評定が94%以上という高い評定であった。ただ、高い評定であっても、「安全・環境」や「信頼性・連携」、「園の公開」などの項目においては、「よくない・そう思わない」の評定があり、真摯に受け止め、次年度の課題としたい。

## 9. 次年度への課題・改善策

①	組織力	「よい・そう思う」の評価が94.4%と高い評価をいただいた項目である。昨年度とほぼ類似した評価をいただいた。今年度も「わからない」が4.4%（11名）あり、「わからない」の評価では一番多い項目となった。職員はチーム力の大切さを意識し、協力し合う姿が多く見られるようになっていて、全員が「あてはまる」と評価した。職員のそうした姿勢は、多くの保護者の方に認識いただいているようである。ただ、保護者にはなかなか見えにくいところがあることも否めなく、「わからない」の評価が、他の評価項目より若干高くなかったと思う。今後は、より具体的な活動や取り組みを提示し、組織力の「見える化」に工夫を図りたい。
②	安全・環境	「よい・そう思う」の評価が95.2%と高い評価をいただいた項目である。ただ、「よくない・そう思わない」と「わからない」の評価が合わせて4.8%（12名）あり、「よくない・そう思わない」の評価では2番目に高い項目となった。園では定期的に安全点検を奇数月に行っている。また、職員も環境の整備が子どもたちが安心して、安全に園生活を送ることに繋がるということを意識し、努力はしているようである。ただ、日常の整理整頓や後片付け等が充分でないところも見受けられる。保護者の「よくない・そう思わない」と判断された根拠を探り、課題を洗い出し改善していきたい。また、整理整頓や後片付けをこまめに行い、それを振り返る心構えを職員で共有していきたい。

③	信頼性連携	昨年度より「そう思う」の評価が1.7%向上し、「そう思わない」が0.5%減少した。「そう思わない」と評価した保護者が8名あり、内7名は3・4・5歳児保護者であった。職員の自己評価は、昨年度に引き続き「そう思う」が100%であり、保護者との連携や信頼関係を築くために努力していることが伺える。職員はできるだけ保護者と直接話したり、電話で連絡をしたりすることを心がけている。また、インスタグラムや写真の掲示等で子どもたちの様子を頻繁に公開するなどして、子どもの様子を伝える努力をしている。保護者との信頼関係を築くことは、教育・保育する上で重要な要素である。今後は「そう思わない」の要因を探るとともに、子どもの生活や成長の様子を、どう伝えていくか工夫していくことを想定したい。
④	園の公開	「そう思う」が94%と高い評価をいただいている。昨年度よりも若干はあるが向上した。「そう思わない」という評価が13名（5.2%）で、他の評価項目より「そう思わない」の評価が若干高くなっている。ただ、昨年度（6.5%）よりは少なくなった。職員の自己評価でも若干1名が「あまりあてはまらない」という評価を行っている。本年度も新型コロナウィルス感染症の流行のため、年間計画で予定していた保育参観や保育参加を中止にしたり、園行事等の中止や参加人数の制限等を行った。保護者が来園する機会が少なかったことが評価に影響していると思われる。また、インスタグラムの公開にも公開の量や内容の高まり等を求めてきている。その要因に応じきれないことも原因の一つであるようだ。コロナ禍での園行事や園の公開のあり方を工夫したり、インスタグラムでの公開について保護者の理解を求めたりしていきたい。
⑤	食育の推進	昨年度に引き続き今年度も「そう思う」の評価が2.1%上昇し、「わからない」も2.9%減少した。食育について、少しずつではあるが保護者に受け入れられ始めたと嬉しいと思う。職員が、食育指導の目標を設定して給食指導を行ったり、サツマイモやじゃがいも等の収穫や食を通して、給食の様子をインスタグラムや写真で公開したりしている成果であると思う。この項目は見えづらいところがあるので、今後も給食指導や給食の献立等をインスタグラム、写真で公開し、さらに「見える化」を工夫していくことを想定したい。
⑥	保護者の園評価	○今年度の回収率は94%で、昨年度に引き続き90%以上の高いものであった。保護者のご協力と関心の高さの現れであると感謝したい。次年度も回答率90%以上を維持出来るように、アンケートへのご協力と周知を早めに行うようにしたい。また、園評価の結果を公開するとともに、それが次年度の園の運営や教育・保育にどう活かされているか、丁寧に説明していきたい。（PDCAサイクルの園評価としていきたい。）さらに、具体的な取り組みや保育内容を盛り込んだ評価しやすい内容や観点になるよう、評価内容を工夫・改善していきたい。 ○今年度も13評価項目すべてに、「よい・そう思う」の評価が90%を越える高い評価をいただいた。園にとって大変ありがたく、職員の教育・保育に取り組むモチベーションを向上させると思う。今後は「そう思わない」の評価があることを真摯に受け止め、保護者のご期待を裏切らないように、子どもを中心とした教育・保育のさらなる向上に努めていきたい。
⑦	職員の自己評価	職員は13項目全てにおいて、「あてはまる(努力した)」と評価し、「A」評定となった。特に「教育・保育の目標」や「意欲」、「指導の工夫・改善」、「生活習慣の指導」、「体力の向上」など、日頃の教育・保育については、自信を持ってがんばったと評価している。職員の教育・保育に対する姿勢は素晴らしい感じる。これも、保護者の方から高い評価をいただいたことが励みになり、職員一人一人が、子ども中心の教育・保育に自信ややりがいを持って日々実践している証だと信じる。今後も、子ども一人一人のために、資質の向上に励み、保護者との連携を密にしながら、保育の「見える化」に取り組んでいきたい。また、「チームふたば」の意識を持って組織力を高め、全職員が一丸となり、子どもの健やかな育ちに関わって欲しいと願っている。

## 10. 「総合評価」「次年度への課題・改善策」に対する評価委員の意見

- 毎年、評価項目が精選され、具体化したことで、例年に比べ変化が見られる。状況に応じて評価項目を臨機応変に変更していく必要性を感じる。（学識経験者）
- これからは、「学び」と「自ら考える」ことが求められる。園児一人一人を大切にした教育・保育の結果として、保護者の安心感や感謝の気持ちが伝わってくる。（学識経験者）
- 保育者が保育実践の中で、常に考える保育者として成長している。組織が大きいのでチームワークを高める「同僚性」と「社会人の基礎」を学び続けることを望みたい。（学識経験者）
- 子どもにとって大切なことは、①安心・安全に過ごせる場、②居場所となる場、③質の高い教育・保育を受けることのできる場、である。ふたばこども園ではこの3つに向けた取り組みがよくなされていると思う。（学識経験者）
- アンケートの結果の「あまりよくない・そう思わない」の評価の具体的な内容がわかるよう、保護者との日々のコミュニケーションを通して読み取りながら、改善につなげて欲しい。（学識経験者）
- PTA執行部に携わったことで、先生方としっかり話ができ、先生方が日々どれだけの思いで園生活を作り上げているのかが本当にわかりました。しかし、その全てを保護者に伝える術もなく、表面だけの評価をしている保護者もいたと思う。特に、今年は昨年よりもコロナで我慢することが多く、不安や不満を感じた保護者が多かったかも知れないのが残念である。（保護者代表）
- インスタを利用しない保護者への伝え方として、保護者しか閲覧できない「コドモン」の活用ができるだろうか。（保護者代表）
- おたのしみ会が無観客開催となった時、園長は「卒園式に年長全員が揃って卒園証書を受け取って欲しい。卒園式はどうしても実施したい。」副園長は「最後の1ヶ月は年長には思いっきり遊び、想い出をたくさん作って欲しい。おたのしみ会を延期をして子どもに負担をかけたくない。」との想いを聞いて納得できた。こういう先生方の想いをコドモンなどで積極的に伝えることも大事だと思う。コドモンのお知らせは事務的な文章が多く、受け取り方によっては冷たく感じる保護者がいるかも知れない。（保護者代表）

- 保護者はインスタグラムの公開、質や内容の高まりを求めてきている。昨年以上の公開をされたとは思うが、保護者個人はできるだけ子どもの様子をたくさん見たい。毎日、毎週アップされるのを期待する。しかし、先生方の負担を考えるとアップの期間が空くのは仕方ないと思う。学年毎にアップする曜日を決めておくのも良いと思う。（保護者代表）
- 全体的な評価を見ても「子ども中心の教育・保育」を先導している園だと認識されていると思う。「組織力」の部分は昨年度同様、「わからない」評価も多いので、先生方が日々努力されている部分（定期的に行われている、園内研修の様子など）をもっと知らせる機会があればいいと思う。（保護者代表）
- 昨年度同様90%を上回るアンケート回収率には感心するばかりである。園の明確な方針と取り組み、成果、それらに対する保護者の関心の高さが伺える。（地域代表）
- 昨年の評価結果を踏まえて、今年度、各項目の改善策がとられ、そのことが評価内容に反映されるなど、一連の評価活動が機能している。（地域代表）
- 「園の公開」については、「そう思わない」という評価が他項目よりも多い。このことは、人の接触が制限されるコロナ禍の中で園の公開をどう行っていくか試行錯誤しながら取り組まれてきていると思う。行事のあり方にはすいぶんメスが入れられてきている。公開のあり方についても検討の時期が来ているのかも知れない。（地域代表）

## 11.今回の「園の自己評価」全般を通しての感想や意見・課題など

- 子ども自ら健康に関心を持ち、遊びを通して、心と体の機能を高め、危機管理能力が育ち、安全な生活ができるように育って欲しい。ふたばの子ども中心の保育の中に、自発的な遊びすなわち、運動遊びの楽しさを体験できる環境と保育者の働きかけができている。（学識経験者）
- コロナ禍の中で、保護者とどのように連携を取っていくか、保護者に日々の子どもの姿をどう伝えていくか、考え、工夫されたと思う。その点で、今後新たな取り組みとして、活かされるものがあるのではと感じる。行事などのマンネリ化を防ぐ、よい機会だと思うので、具現化、進化させて欲しい。（学識経験者）
- ふたばこども園を訪問する際に感じることは、良い意味での「変化」である。ホール前のスペースの使い方といった物的環境の創意工夫だけではなく、職員が醸し出す雰囲気（人的環境）の温かさ、生き生きとした子どもたちの表情と活動を肌で感じることができる。子ども中心の保育が充実しているからだと言える。一人一人の職員が日々の教育・保育に課題意識を持って取り組み、研修の積み重ねを通して切磋琢磨されてきた成果だと思う。これからも自信と誇りを持って子ども中心の教育・保育を実践して欲しい。（学識経験者）
- 先生方の自己評価が高いということは、自信だと思う。それが子どもへ伝わり、子どもの成長や自己肯定力に繋がっていると思う。（保護者代表）
- 「子ども中心」「遊びは学び」という素晴らしい保育をしてくださっている。もっと他の保護者と関わる機会があれば、先生方の努力や考え方などを伝えたかった。（保護者代表）
- ふたばの教育・保育の方針はぶれることなく、先生方も同じ方向で保育や指導をされている。そして、保護者の多くがそれに対して高い評価で満足していると感じた。（保護者代表）
- インスタのアップや園の公開など、さらに求められてしまうところがあり、先生方の仕事や業務の負担になるのではと心配なことがある。（保護者代表）
- 昨年度に引き続きコロナで園行事に影響が出てしましました。それでも子どもたちのために何かできることはいかとたくさん検討していただきました。本当にありがとうございましたと感謝しています。初の試みや企画等があり、これからも子どもたちの笑顔のために続くといなと思いました。（保護者代表）
- 職員研修の成果が見事に花を開き、保育の充実に至っている。またこのことが組織力の向上にも寄与している。「教育は人なり」と言われるが、まさしく職員の指導力が園の充実に繋がって素晴らしい。（地域代表）
- 保護者による評価は、日々の取り組みはもちろん、保護者との連携や園の公開等によってなされている。園の公開については、コロナをきっかけに、形にとらわれず、自由にできないか検討の余地があると思う。また、公開に対する保護者の意識改革も必要なのかも知れない。（地域代表）

## 12.関係者評価委員会による評価を終えて

- 評価アンケートの回収率が94%という高い回収率となった。昨年度に引き続き90%以上の回収率に、保護者のご協力及び園に対する関心と期待の現れだと嬉しく思った。これからも、園の様子の説明や公開、様々な「見える化」の手段を工夫して、保護者の方がより評価しやすい評価項目、内容へと改善・工夫を行っていきたい。
- 関係者評価委員の方々からは、自己評価のすべての項目で「A」評価をいただいた。保護者及び関係者評価委員の方の高い評価は、職員にとって園にとっても大変ありがたいし、励みになる。職員のモチベーションが高くなり、自分たちの指導に自信と確信が持てると思う。ただ、数名の保護者に「そう思わない」、「わからない」という評価をいただいた項目がある。こうした評価には真摯に向き合い、次年度の指導や運営で努力し、高い評価をもらえるように取り組んでいきたい。
- 「総合評価」や「次年度の課題・改善策」の欄に記載しているとおり、関係者評価委員の皆様からたくさんのご意見をいただいた。その多くが、子ども主体の遊びを中心とした教育・保育の実践とその成果について、賛同していただき、褒めていただき、さらなる期待をしていただくご意見であった。大変ありがたいことであり、頂いたご意見が更なる教育・保育の向上の糧になるようしていきたい。また、改善すべきご意見についても、次年度の課題として改善や工夫を行っていきたい。
- 「分からない」や「そう思わない」と評価をされる方が評価項目によって数%あった。そう評価された理由や要因を探ると共に、園生活の様子の「見える化」をさらに工夫し、「分からない」の評価が少なくなるようにしていきたい。
- 今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な園行事や日常の園生活で中止や制限を余儀なくされた。コロナ禍の中で、園行事や園の公開、遊び中心の子ども主体の教育・保育のあり方など、何ができるか、どう工夫していくか、今後の課題である。
- 職員研修は教育・保育の質の向上のために、これまで計画的に、欠かすことなく続けてきた。その成果が日頃の保育の中で活かされてきた。職員の「子ども中心の教育・保育」に対する取り組みや能力が確実に向上してきていると思う。これからも、「子ども中心の教育・保育」を県内で先導できる園として信頼されるように研鑽を積んでいきたい。